

農場体験見学会を開催!

今年の夏秋は安定した天候が続き、定期的に雨も降り、農場の野菜も順調に生育しています。11月中旬から順次、都内小中学校へ秋野菜の出荷を始めました。皆さんに美味しく、安全安心な野菜を提供できるように、生産組合とともに引き続き頑張っています。

さて、農場での体験見学会は2年ぶりの開催となりました。令和3年11月に行った見学会の様子をお伝えします。

令和3年11月3日に東京都内の学校栄養職員等の皆様を対象に、第1回とうきょう元気農場体験見学会を開催しました。

天候にも恵まれ、「大蔵大根」と「サツマイモ」の収穫体験や農場機械の見学を行いました。参加者らは野菜の生育や出荷手順を熱心に確認し、久しぶりのリアルな勉強会の参加に「実際に体験できたことで子供たちへリアルに伝えることができます」などの声がきかれました。



今年度から新たに、都内の企業・大学の食堂関係者(第2回、11月21日開催)、並びに都内在住の親子(第3回、11月27日開催)を対象とした見学会を開催しました。

第2回では収穫体験後、畑で作業を行っていた生産者からサトイモの収穫・調整作業について詳しく話が聞くことができ、参加者からは「大変勉強になった」との感想がありました。第3回は大人も子供も夢中になって、野菜の収穫を行いました。畑で育っている野菜の様子に興味津々の様子でした。

11月30日に文京区立駕籠町小学校の児童60名が参加して、第4回農場体験見学会を開催しました。

午前中は「大蔵大根」と「サツマイモ」の収穫、午後は農場内を散策後、野菜洗浄機の実演や農業用機械の見学を行いました。児童からは初めて見る農業用機械に「大きい!」や「すごーい!」など驚きの声がきかれました。



↑ 収穫間近のニンジン

農場の様子

農場では11月から給食用秋冬野菜の出荷が始まり、12月はダイコン、サツマイモ、サトイモ、ニンジン、カボチャを出荷しています。

畑には年明け1月に出荷するニンジンや地元直売所に出荷するハウレンソウなどが寒さに耐えて、頑張っている様子です。

本格的な冬に向けて、農場では収穫作業や出荷作業が進んでいます。